

- ▶第3回中堅教員リトリート（2面）
- ▶キリスト教教育者物語（2～5、8面）
- ▶第3回大学新任教員研修会（3、4面）
- ▶第6回中堅事務職員研修会（4面）
- ▶加盟校学生・生徒・児童・教職員数（5面）
- ▶各地区の夏期行事報告（6～8面）
- ▶八公山（9面）

キリスト教学校教育 10

2016・2017年度教研テーマ 時代の担い手としてのキリスト教学校ー共に喜び、共に泣くー

一社)キリスト教学校教育同盟
169-0051
京都府新宿区西早稻田2-3-18
本キリスト教会館72号室
電話 03(6233)8225
A X 03(6233)8226
事長 梅津 順一
集人 田村 浩一
貰200円(加盟法人の構成
は会員に含まれています)
毎月1回15日発行)

第58回 学校代表者協議会

11月11日(金)・12日(土) 青山学院大学で開催

主 項

グローバル時代の キリスト教学校

教育と運営

第58回学校代表者協議 づいて発題（問題提

云は、来る11月11日が行われる。
（金）午後5時から8時 2日目（12日）は朝の 屈食・懇親会・青山学
まで、12日（土）午前9時 桜井の後 熊本地震を経て 大学校見学の後、多くの参加を願つて
いた 待し、加盟学校法人の教
學・經營に責任を持つ方

時から午後4時30分まで、林田博文（ル）と駿して、林田博文（ル）が教育同盟加盟校は、今いる。申込締切は10月21日。日程課題にどう対応する。申込締切は10月21日。
青山学院大学（東京学園中学校・高等
学園）において開催
（ア部英樹）のとくと題した講演を受
（金）。用紙は教育同盟
（校長）阿部英樹（ル）

打。 今回の主題は「グロー
ハル時代のギリスト教學」
ハル時代の重音。 ふる君
によつてつづ記念版。 なほ
かにかたと題話を。 がんか
・報告、學校長、中學校
の西田 ループ討議が行
理會事会 懇親会。 全生
徒会等も出席して、大いに
活氣を發揮した。

（1）日（11日）は、受付る。
（17号館1階）開会式。1 各地区協議会における報告、今後の課題。（2）立って、11月11日（金）
午後1時より教職員による事業計画・予算審議の実験を受けて（教職員問題）
吉澤山義光先生大講演も並んで開催される。

理事長へが行われる予定である。

（院長）により、主題に基
3 教員免許更新講座 教育同盟の歩みを強く音
も漸減していった。それで となつた。

も、戦前までは、長崎市に本学院は、長崎市で原爆
は、上海・長崎航路があり、被爆して全てを失った。
中國大陸との交通拠点であり多くの死傷者を出した。不

つた。しかし、原爆と敗戦思議な力に導かれて長崎市

となりつ
主義の
掲げて

老設學

満キ

高度成長期の大規模な人口移動を経験して、長崎県は、日本有数の人口減少県である。この現象は、主に、長崎市を中心とする労働力の流出によるものである。これは、長崎市が、第二次世界大戦後、急速に工業化され、多くの労働力を必要としたことによる。また、長崎市は、歴史的に、多くの労働力を供給する場所として知られており、その歴史的背景も、この現象の一因である。一方で、長崎市は、長い歴史の中で、多くの文化財や歴史的建造物を残すなど、文化面でも豊かな都市である。また、長崎市は、海港都市として、多くの観光客が訪れる場所でもある。しかし、一方で、長崎市は、人口減少によって、社会問題が深刻化している。特に、高齢化率が高く、介護負担が大きな問題となっている。また、労働力の減少により、経済的な問題も深刻化している。一方で、長崎市は、歴史的背景や文化面での魅力を活かし、観光資源としての開発が進められている。また、長崎市は、多くの歴史的建造物や文化財を残すなど、文化面でも豊かな都市である。また、長崎市は、海港都市として、多くの観光客が訪れる場所でもある。しかし、一方で、長崎市は、人口減少によって、社会問題が深刻化している。特に、高齢化率が高く、介護負担が大きな問題となっている。また、労働力の減少により、経済的な問題も深刻化している。

卷之三

て4年制大学となつた。長

理事

は幼稚園・大学・大学院、相模原キャンパスで、り梅津順一理事長が祝辞を述べた。

行
10/
11/
2011
6/

事予定>
31.11/1 第58回中高研究集会
(関東学院メディアセンター・搜真学院)
5 キリスト教学校教育懇談会第14回講演会
(上智大学)
11.12 第58回学校代表者協議会
(青山学院大学)
17.18 第11回全国聖書研究集会
(同志社国際中高・同志社女子中高)
19 第2回キリスト教看護教育推進会議
(聖路加国際大学)
7年
9.10 第105回定時総会(東北学院)

<http://www.k-doumei.or.jp/> E-mail info@k-doumei.or.jp

發題

第3回中堅教員トレーニング（研修）が8月9日・11日滋賀県大津市の同幸苑で、「リトリートセンター」で開催され、34名（および講師2名、実行委員7名）が参加した。発題を水口洋氏（玉川聖学院中等部・高等部長）、礼拝を春名康範氏（日本キリスト教団大浦教会牧師）が務めた。

キリスト教学校教師として

玉川聖学院中等部・高等部部長 水口洋



40年の節目の時に

- 20年 2. 部長 水口洋
社会科教師としての
40歳で管轄職を任命された時、イギリスにて
イの作り替えの難しさを
体験した。現場を離れたことによる喪失感が、
が、思いを失ふること

第2回 「キリスト教が学校の責任を持つて」

- た。最悪と思える出来事の中に神の懲られたメッセージを聞き取れた。闇の中になんか人間を教育に向こう側の光は輝いていたことを実感した。

3. 問題山積の中で

教師生活の最後の段階で、教員生活や家族の問題、学校では左翼集団難の問題、政治ギリスと教師の将来など、多くの問題に直面した。だが、失敗だらけの人生の中にも歩みが人間を教育する。そこに置かれたことでも見えてきたものの、イエスの語り透説的真理解の意味、小さくされた歩みの中にある眞実が、少しずつ確信できるようになってきたのではないかと願っている。

レポート

しばし、立ち止まり、ふり返る

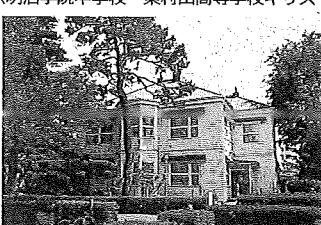
福岡女学院中学校・高等学校校長 二田真知子

リスト教学校から43名の先生方（講師の名と委員会7名を含む）の参加となりました。講師にお預けした水口洋先生の発題は、「キリスト教学校の教師として40年の節目の年に」でした。幼少期からのキリスト教学校に赴任するまでの数々の出会いに始まり、教師としての40年を4つ（20年、15年、10年、5年）の時期に分けて、「教師としての使命感と挫折」「言ふべき悩みの心地のカウンセリング」との出合いで、「私事としての出来事」について語りました。

A.R.ライシャワー
(1879~1971)
明治学院

オーガスト・カール（A・K）・ライシャワーは1905年にアメリカ長老派教会の宣教師として日本に派遣され、1907年から1930年まで、東京白金台の明治学院で教鞭を執りました。学院では最初に西史と哲学を、のちに神学、宗教学を教えました。当時の軍国主義的に反対し、日本人を理解する為に仏教を熱心に研究したことでも知られています。ヘレン夫人と共に明治学院構内にあった宣教師館に住み、子供たちもここで生まれ育ちました。長男ロバートはブリストン大学教授として、また次男エドワードは東アジア研究の世界的権威として知られ、のちに駐日大使となりました。

A・K・ライシャワーは明治学院の教授を務める傍ら、新渡戸稻造と共に東京女子大学の設立に力を尽しました。また、長女フューリシアが肺炎で聴覚を失ったことをきっかけに、ヘレン夫人と日本聾話学校の設立にも努めました。女子学院の院長を8年間務めたこともあります。このように、A・K・ライシャワーは日本のキリスト教学校の創設とその発展に、キリスト教の伝道活動と学校教育に、大きく貢献した人物と言えるでしょう。在日中の多大な功績が認められ、帰米して13年後の1954年に勲三等瑞宝章が授与されました。



ライシャワー館



開会式



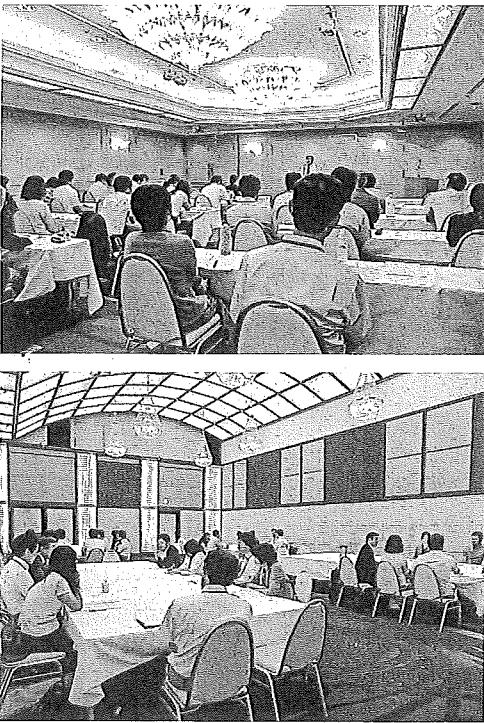
最前列左から2人目・春名康範牧師

思い出されます。
2回のグループ別集会では、発題を受けての分かち合いの時でした。各学校また各個人が抱えていた問題は異なります。が、アドバイスまで課題をシェアする事が出来ました。

大学新任教員研修会レポート・考察

今後の研修会のあり方

「中堅事務職員研修」の提言」と題して、「中堅事務職員研修」の提言」と題して、会には、在職15年前後の「中堅層」を対象として、これまでのキャリアを回顧する「事務職員夏期学校」で、学校の歩みを振り返り、自校の歴史の再認識など、「建学の精神」を担う者としての中でも、キリスト教の道徳の教化と共に働くことの意義について改めて学びを深める時とする。これを目的としている。



「中堅事務職員研修」の提言」と題して行われた。そして講演の最後に、「中堅層を対象として、これまでのキリスト教の神学を継続し、自校の歴史の再認識など、建学の精神を担う者としての中で、キリスト教学校が、神聖なる担い手となり得るか」という問題が提出された。そこで、筆者は、この問題に対する回答として、以下の4つのグループについて述べた。

「建学の精神」を 担う者として



キリスト教教育者 物語

創立者

清水國際學園

市毛先生は明治10（1877年）8月24日茨城県太洗町で誕生され、東京高等師範学校本科英語科を卒業後、各地の師範学校の教員を始め、旧制童士中学校教頭を最後に公立學校の教職を去られ、今日の女子教育発展の動向を見通され、女子に職業教育を行う学校の設立を決意されました。

そして昭和9（1934）年4月、敬虔なクリスチヤンの先生は、かつてカリリスト新宗教道に従事されていた夫婦、また山梨女子師範学校当時から交流があり、熱心なキリスト教信者であった中瀬毅一先生の力強い協力を得て、この清水の地に清水裁縫女学校・清水商業女学校を創立されました。先生が57歳の時でした。

終戦後、教育基本法の示す通り、世界の平和、人類の幸福増進に貢献し得るる派の人間を育てるには、家庭教育が重要だと感じられ、昭和24（1949）

市毛金太郎先生
創立者
清水国際学園
43



清水國際學園理事長

片桐竜子、片桐 孝

岐阜済美学院

片桐竜子 (1890~1963)

岐阜済美学院は、今ではキリスト教主義の幼稚園、高校、短大、大学、大学院を擁する学院に発展しているが、その始まりは、1918年に深い神道の信仰者であった片桐竜子が岐阜市溝旗に「岐阜裁縫女学校」を開設したことに始まっている。

竜子は「女子教育の向上こそが日本国の大發展の礎である」との信念をもって学校を開設した。裁縫女学校では、和裁のみならず、刺繡、造花、染色などの手芸、さらには洋裁、英語まで教えた。しかし竜子は知識・技能を教えるだけでなく、女性の自立のために精神的教育が重要だと考え、神を敬うこと、国を愛すること、祖先を崇拜することなどを毎朝、生徒たちに訓話した。

学院創立時、竜子は28歳の若さだった。多くの苦難を乗り越えつつ発展させていた竜子は、終戦前後に試練を迎えた。それは竜子が後継者として期待していた息子の片桐登喜夫が45年5月に亡くなってしまったことと、敗戦により「神道主義」の教育方針を考え直す必要に迫られたことだった。こうして登喜夫の伴侶である片桐孝に学院の運営が委ねられることになった。自分が学院を担うことについて孝が「キリスト教主義でやつてもよろしいでしょうか」と訊ねたとき、竜子は「いいですよ。私の神様は日本の神様で、あなたの神様は世界の神様です」と快く賛同した。そして晩年には、竜

キリスト教の信者

(4)



片桐竜子



片桐 孝

子自身も洗礼を受けている。われわれは、この学院の歴史に、主のはかり知ることのできない摂理のあったことを感じざるをえないものである。

片桐 孝 (1914~2001)

孝は奈良女子高等師範学校（現奈良女子大学）で学び滋賀県で教諭をしていたが、恩師の紹介で片桐登喜夫と結婚した。登喜夫は岐阜市にある高等女学校を母竜子と共に運営していたが、熱心な神道の信仰者であった竜子が息子の妻にキリスト教の孝を選んだことに竜子の器の大きさが現わされている。ここにもすでに神の摂理がはたらいていたと言わざるをえない。

終戦の年に登喜夫は病で帰らぬ人となり、竜子は当局から締め付けを受けたので学校は季にバトンタッチされた。孝はこの機会に学校をそれまでの神道主義からキリスト教主義に変更することを決意した。このとき県教育界に影響力を持っていたG H Q軍政部のガスタフソンは、岐阜は有名な仏教県なので、キリスト教主義に変えると学校は潰れる擔心してくれたのだが、彼女は決してひるまず「私はこれ以外に進む道はないのです」と言った。孝は志のひとであり、祈りでもって自分の意志をあくまで貫き通すひとだった。キリスト教主義の教育を行なうことは、ただ自分の信仰に基づく教育をというだけではなく、このことがこれから他の教育にとって必要であり、またそうすることに自分の使命があると考えていた。

孝の祈りにこのようなものがある。「神様、この学校が岐阜の地で必要な学校であるならば、守り維持してください。必要でないのなら、もう閉じて下さい、お任せします」このようにすべてを神に委ねる信仰が、学院を支えてきたのである。

笠井恵二〈中部学院大学宗教主事〉

加盟校(103法人)学生・生徒・児童・教職員数

<学生生徒児童数> 2016年5月1日時点

(単位:人)

| 種別・グレード | 校数 | 設置数 | 女 | 男 | 合計 | 総合計 | | | |
|------------------|----|-----|--------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| | | | | | | 女 | 男 | 合計 | |
| 大学 | 55 | 39 | 88,098 | 96,711 | 184,809 | 131,754 | 101,689 | 233,443 | |
| | | 16 | 39,551 | 0 | 39,551 | | | | |
| | | 1 | 485 | 236 | 721 | | | | |
| | | 43 | 3,268 | 4,018 | 7,286 | | | | |
| | | 7 | 352 | 724 | 1,076 | | | | |
| 短期大学 短期大学部 | 23 | 2 | 757 | 47 | 804 | 8,776 | 409 | 9,185 | |
| | | 2 | 437 | 0 | 437 | | | | |
| | | 12 | 3,729 | 362 | 4,091 | | | | |
| | | 7 | 3,853 | 0 | 3,853 | | | | |
| | | 23 | 8,776 | 409 | 9,185 | | | | |
| 短期大学・短期大学部 合計 | | | 78 | 140,530 | 102,098 | 242,628 | | | |
| 大学・短期大学・短期大学部 合計 | | | | | | 677 | 640 | 1,317 | |
| 専門・各種学校 | 9 | 9 | 677 | 640 | 1,317 | 39,916 | 25,236 | 65,152 | |
| | | 49 | 21,533 | 19,548 | 41,081 | | | | |
| | | 34 | 18,025 | 0 | 18,025 | | | | |
| | | 5 | 0 | 5,223 | 5,223 | | | | |
| 高校 | 91 | 3 | 358 | 465 | 823 | 19,132 | 8,785 | 27,867 | |
| | | 34 | 6,065 | 5,905 | 11,970 | | | | |
| | | 34 | 18,067 | 0 | 18,067 | | | | |
| | | 5 | 0 | 2,830 | 2,830 | | | | |
| 高校・中学 合計 | | | 164 | 59,048 | 33,971 | 93,019 | | | |
| 中学 | 73 | 22 | 3,456 | 2,944 | 6,400 | 4,357 | 3,664 | 8,021 | |
| | | 2 | 901 | 0 | 901 | | | | |
| | | 1 | 0 | 720 | 720 | | | | |
| 小学校 合計 | | | 25 | 4,357 | 3,664 | 8,021 | | | |
| 総合計 | | 276 | 276 | 204,612 | 140,373 | 344,985 | 204,612 | 140,373 | 344,985 |

<教員・専任職員数> 2016年5月1日時点

(単位:人)

| 種別・グレード | 女 | 男 | 教員数 | | 合計 | 専任職員数 | | | |
|---------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|-------|
| | | | 専任 | 非常勤 | | 女 | 男 | 合計 | |
| 法人 | | | | | 333 | 526 | 859 | | |
| | | | | | | | | | |
| 大学 | 2,421 | 5,476 | 7,897 | 15,345 | 23,242 | 2,797 | 2,232 | 4,520 | |
| | | | | | | | | | |
| 短期大学 | 235 | 206 | 441 | 1,042 | 1,483 | 40 | 24 | 64 | |
| | | | | | | | | | |
| 各種専門学校 | 91 | 144 | 178 | 327 | 505 | 500 | 431 | 931 | |
| | | | | | | | | | |
| 中学高校 | 2,093 | 3,130 | 5,223 | 3,300 | 8,523 | 500 | 431 | 931 | |
| | | | | | | | | | |
| 小学校 | 248 | 252 | 500 | 206 | 706 | 54 | 37 | 91 | |
| | | | | | | | | | |
| 総合計 | | 14,259 | 20,200 | 14,239 | 20,220 | 34,459 | 3,724 | 3,250 | 6,974 |

註)法人本部と各グレードで兼任あり



(6面よりつづく) き、金剛寺金堂や鐘楼を巡って高野山の歴史、奥シナルツアーやし、館を巡ることができた。高野山に移動、金剛に触れることができた。強引が和らぐ感覚を生む事で、天小村研修を通して、天小村じられた。その中で、与ることに活かしたい。本彌久先生(高野山高校)にご案内いただきの中、自分自身の身体を重ねて、自分のケガの大切さ、清教園中・高等学校や、人の繋がりにより、支えられていることを

や、心の動きに従うべく、改めて見直す時間と目を向けながら、身心のなった。また、この体験で、自分のよき教師が必

要とされているのかと

明治学院高等学校の徳永義敏に根ざした貴重な

ものであり、新井の先生

いう発展がなされた。

方だけでなく、私自身も

「私は学校は、それ

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

くのか。私たちのミシ

育方針がある。その説

かれ、前夜の講演、直前

を失わず、学校の員と

しての自尊を持たなくて

いいんだよ」と、

の建学の精神に基づき、

大変参考になり勉強にな

て立教院中学校、感想、疑問点

参考のない」、というこ

と。

として、「誰がどう

いう形で教育を担つて行

創立者

コーネリア・ジャジソン宣教師
松山学院(松山城南高等学校)

「あなたがたもこのように働いて弱い者を助けるように、また、主イエス御自身が『愛するよりは与える方が幸いである』と言われた言葉を思い出すように、わたしあいつも身をもって示してきました。」

(徒徳言行録20章35節)

アメリカからやってきたコーネリア・ジャジソン宣教師(1860~1939)が、日本で「受けのり与える」生き方を選んだのは、決して彼女が強くて、多くの物を持っていて、完璧だったからではありません。小さい頃の病気の経験、また年齢を重ね、自分の最期を意識しながら、もうこの体では日本に戻ることは出来ないという、そんな弱さや様々な問題

キリスト教教育評論

物語

45

松山城南高等学校内にある
ジャジソン宣教師像

を抱える中で、与える生き方を貫いたのでした。また、彼女は弱さを理解していたからこそ、大胆に、与える生き方ができたかもしれません。

とにかく、このように彼女をここまで動かした土台が、聖書に示されたイエスの言葉、「受けのりよりは与える方が幸いである」という言葉だったのです。

与える生き方、与える幸せを感じることが出来るのは、まさに、与えたものを受け取ってくれる誰か、またさまざまものを共有したり、共感したりすることのできる誰かと一緒に生きているということです。

そして与える喜び、それは出会いによって生まれます。一緒に生きる隣人との関係において、与える喜びを私たちには知っています。

松山城南高等学校はこのコーネリア・ジャジソン宣教師の「信仰と愛」を受け継いで、2016年創立125周年目を迎えました。

辻村佳子

<松山城南高等学校聖書科主任>

東北・北海道地区

時代の担い手としての
キリスト教学校

—共に喜び、共に泣く—

教育研究集会大学部会

—共に喜び、共に泣く—

佐々木隆氏(右)

森本あん氏(左)

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—

—